

平成 28 年 7 月 11 日

同時資料提供先

合同庁舎記者クラブ、鳥取県政記者会、鳥取市政記者会、米子市政記者クラブ、島根県政記者会、岡山県政記者クラブ、広島県政記者クラブ、山口県政記者クラブ、山口県政記者会、山口県政滝町クラブ、中国地方建設記者クラブ

平成 27 年 中国地方一級河川の水質現況の公表

～98%の調査地点で環境基準を満足～

中国地方整備局は、昭和 36 年から中国地方一級河川の水質調査を実施しています。平成 27 年（1 月～12 月）の管内一級河川 13 水系（直轄管理区間）における水質現況をとりまとめましたのでお知らせします。

～水質調査結果～

- ・ 主要 15 河川の 68 地点のうち、水質が良好な地点は 9 地点
- ・ 主要 15 河川のうち、水質が最も良好な河川は 2 河川
- ・ 生活環境の保全に関する環境基準（BOD）の満足状況は 97.6%（平成 26 年は 95.3%）
（環境基準の類型が指定されている 85 地点のうち 83 地点で満足）

～新しい水質指標による調査結果～

- ・ BOD だけでなく多様な視点で評価する調査を平成 17 年から実施
- ・ 「人と河川の豊かなふれあいの確保」の視点では、川の中に入って遊びやすいとの評価が 46%

～ダイオキシン類調査結果～

- ・ 全調査地点で環境基準を満足

～水質事故の発生状況～

- ・ 水質事故の発生総件数は 106 件
- ・ 原因物質別件数で最も多いのは「油の流出」で全体の 77%

（詳細については中国地方整備局 HP（<http://www.cgr.mlit.go.jp>）に掲載の「平成 27 年 中国地方一級河川の水質現況」をご覧ください。）

○問い合わせ先

国土交通省中国地方整備局

電話番号 昼間（082）221 - 9231（代表）

（担当）河川部	流域・水防調整官	かわしま 川島	あきまさ 明昌	（内線 3518）
---------	----------	------------	------------	-----------

（担当）河川部	建設専門官	もりうえ 森上	かずじ 和治	（内線 3758）
---------	-------	------------	-----------	-----------

（広報担当窓口）	総務部	広報広聴対策官	さかや 坂屋	まさゆき 政之	（内線 2117）
----------	-----	---------	-----------	------------	-----------

企画部	環境調整官	まつもと 松本	はるお 治男	（内線 3114）
-----	-------	------------	-----------	-----------

平成27年

中国地方

一級河川の水質現況

Recent condition of water quality of class A river in Chugoku

2015

コラム

小鴨川

—再び「水質が最も良好な河川」
に返り咲きました—

水質調査結果

人の健康の保護に関する環境基準

新しい水質指標による調査結果

ダイオキシン類等の実態調査結果

水質事故の状況



CONTENTS

平成 27 年 水質調査結果	01
主要河川の地点別年平均水質	02
過去 10 年間の水質改善状況	03
水質が良好な河川	04
生活環境の保全に関する環境基準の満足状況	05

コラム

小鴨川 -再び「水質が最も良好な河川」 に振り返りました-	06
----------------------------------	----

平成 27 年 新しい水質指標に基づく調査結果	08
新しい水質指標について	08
新しい水質指標に基づく調査結果	08

平成 27 年 ダイオキシン類の実態調査結果	11
ダイオキシン類実態調査結果	11

平成 27 年 水質事故等の発生状況	12
水質事故等の発生状況	12

用語の解説	13
-------	----

平成 27 年水質調査結果

中国地方の一級河川(直轄管理区間)の水質は、これまでの排水規制、下水道の整備、河川浄化施設等の設置、地域住民(団体)・企業・学校・行政が連携した水質改善への取り組みで改善されており、近年、特に芦田川の水質が大幅に改善しています。

しかしながら、河川の水質は、主に工場排水や家庭排水が汚濁源となって、都市域を流下する中・下流において BOD が高い傾向にあります。

このため、今後も引き続き、河川の水質状況を把握したうえで、水質改善に向けた効率的な施策の実施が求められます。

平成27年 水質調査結果

主要河川の地点別年平均水質

各地点の BOD 年平均値で見ると、今泉、大原、小田、田後(天神川)、関金、河原町、巖城(小鴨川)、大津(神立橋)(斐伊川)、金地橋(高津川)が、良好な水質(BOD の年間の平均値 0.5mg/ℓ)を維持しています。

平成 27 年の中国地方 15 河川の地点別平均値

水系名	河川名	調査地点		
		地点数	県名	各地点のBOD年平均値(mg/ℓ)
千代川	千代川	6	鳥取県	用瀬 0.8 佐貫 0.9 稲常 0.8 源太橋 0.8 行徳 0.9 賀露 1.0
天神川	天神川	4	鳥取県	今泉 0.5 大原 0.5 小田 0.5 田後 0.5
天神川	小鴨川	3	鳥取県	関金 0.5 河原町 0.5 巖城 0.5
日野川	日野川	4	鳥取県	溝口 0.6 八幡 0.6 車尾 0.6 皆生 0.7
日野川	法勝寺川	2	鳥取県	法勝寺 0.7 福市 0.8
斐伊川	斐伊川	2	島根県	里熊(里熊大橋) 0.6 大津(神立橋) 0.5
江の川	江の川	9	島根県 広島県	吉田 0.9 粟屋 1.0 尾関山 0.8 三国橋 0.8 都賀大橋 0.7 川本大橋 0.7 桜江大橋 0.7 川平 0.7 江川橋 0.6
高津川	高津川	4	島根県	神田橋 0.6 金地橋 0.5 高角 0.6 高津大橋 0.6
吉井川	吉井川	5	岡山県	熊山橋 0.8 弓削橋 0.9 備前大橋 0.9 鴨越堰 1.0 永安橋 2.5
旭川	旭川	4	岡山県	合同堰 0.7 乙井手堰 0.8 相生橋 0.9 桜橋 1.4
高梁川	高梁川	4	岡山県	湛井堰 0.8 川辺橋 0.9 笠井堰 0.8 霞橋 1.1
芦田川	芦田川	7	広島県	久佐 0.9 大渡橋 0.9 府中大橋 1.1 上戸手 1.1 中津原 1.1 山手橋 1.7 小水呑橋 2.4
太田川	太田川	8	広島県	柴木川下流 0.6 加計 0.8 高山川下流 0.7 壬辰橋 0.9 太田川橋 0.7 玖村 0.8 矢口川上流 0.9 旭橋 1.3
小瀬川	小瀬川	3	広島県 山口県	小川津 0.8 岡国橋 0.8 大和橋 1.0
佐波川	佐波川	3	山口県	漆尾 0.9 新橋 0.9 佐波川大橋 0.8

※河川における調査地点の合計 101 地点のうち、以下の条件を満たす 68 地点での調査結果です。
・一級河川(本川)及び直轄管理区間延長が概ね 10km 以上の一級河川(支川)における代表的な調査地点。

※BOD 年平均値が、環境省の定める公共用水域水質測定結果の報告下限値の 0.5mg/ℓである地点を、「水質が良好な地点」としてしています。

平成27年 水質調査結果

過去10年間の水質改善状況

芦田川は、水質が大幅に改善されています。

平成27年の地点毎の年間の平均的な水質(BOD値)と、平成17年の地点毎の年間の平均的な水質(BOD値)から、10年間の直轄管理区間の水質改善幅による地点の水質改善状況を比較すると、芦田川水系の地点で大幅な水質改善が進んでいます。

また、下表の地点以外にも、様々な取り組み等により、きれいな水、生物が生息しやすい川をめざして水質や水環境の改善が多面的に取り組まれています。

BOD 平均値の改善幅による過去 10 年間の水質改善状況

地点名(水系名河川名)	平成17年 BOD 年平均値 (mg/l)	平成27年 BOD 年平均値 (mg/l)	水質改善幅 (mg/l)
<small>かわきた</small> 川北(芦田川水系高屋川)	6.8	2.6	4.2
<small>よこお</small> 横尾(芦田川水系高屋川)	6.2	2.3	3.9
<small>なかす</small> 中須(芦田川水系砂川)	6.4	2.7	3.7
<small>こみのみばし</small> 小水呑橋(芦田川水系芦田川)	5.6	2.4	3.2
<small>やまてばし</small> 山手橋(芦田川水系芦田川)	4.3	1.7	2.6
<small>せいなばし</small> 清内橋(旭川水系百間川)	3.3	2.6	0.7
<small>かみとで</small> 上戸手(芦田川水系芦田川)	1.8	1.1	0.7
<small>ふくしょうばし</small> 福松橋(高梁川水系小田川)	1.7	1.0	0.7
<small>はまさか</small> 浜坂(千代川水系袋川)	2.1	1.5	0.6
<small>なかつほら</small> 中津原(芦田川水系芦田川)	1.7	1.1	0.6
<small>やまとばし</small> 大和橋(小瀬川水系小瀬川)	1.6	1.0	0.6
<small>ふくいち</small> 福市(日野川水系法勝寺川)	1.3	0.8	0.5
<small>りょうごくばし</small> 両国橋(小瀬川水系小瀬川)	1.3	0.8	0.5

※河川における調査地点の合計 101 地点のうち、水質改善幅が 0.5mg/l 以上の調査地点を抽出しました。



平成27年 水質調査結果

水質が良好な河川

水質が最も良好な河川は、天神川と小鴨川でした。

直轄管理区間に複数の水質調査地点を有する河川のうち、年間の平均的な水質(BOD 値)が最も良好な河川は、天神川と小鴨川でした。

BOD 平均値による河川の水質状況

河川名(水系名)	河川のBOD年平均値(mg/ℓ)			
	平均値		(75%値)	
	平成27年	平成26年	平成27年	平成26年
千代川(千代川水系)	0.9	0.6	(0.9)	(0.5)
天神川 (天神川水系)	0.5	0.6	(0.5)	(0.6)
小鴨川 (天神川水系)	0.5	0.6	(0.5)	(0.7)
日野川(日野川水系)	0.6	0.6	(0.6)	(0.7)
法勝寺川(日野川水系)	0.8	0.8	(0.9)	(1.0)
斐伊川(斐伊川水系)	0.6	0.6	(0.5)	(0.7)
江の川(江の川水系)	0.8	0.7	(0.9)	(0.7)
高津川(高津川水系)	0.6	0.5	(0.6)	(0.6)
吉井川(吉井川水系)	1.2	1.3	(1.3)	(1.5)
旭川(旭川水系)	1.0	0.8	(1.1)	(0.8)
高梁川(高梁川水系)	0.9	0.9	(0.9)	(1.0)
芦田川(芦田川水系)	1.3	1.4	(1.4)	(1.8)
太田川(太田川水系)	0.8	0.8	(1.0)	(0.9)
小瀬川(小瀬川水系)	0.9	0.7	(0.9)	(0.8)
佐波川(佐波川水系)	0.9	0.6	(0.9)	(0.7)

※河川における調査地点の合計 101 地点のうち、以下の条件を満たす 68 地点での調査結果です。
・一級河川(本川)及び直轄管理区間延長が概ね 10km 以上の一級河川(支川)の代表的な調査地点。

※河川の BOD 年平均値と BOD75%値の両方が 0.5mg/ℓである河川を、「水質が最も良好な河川」としています。



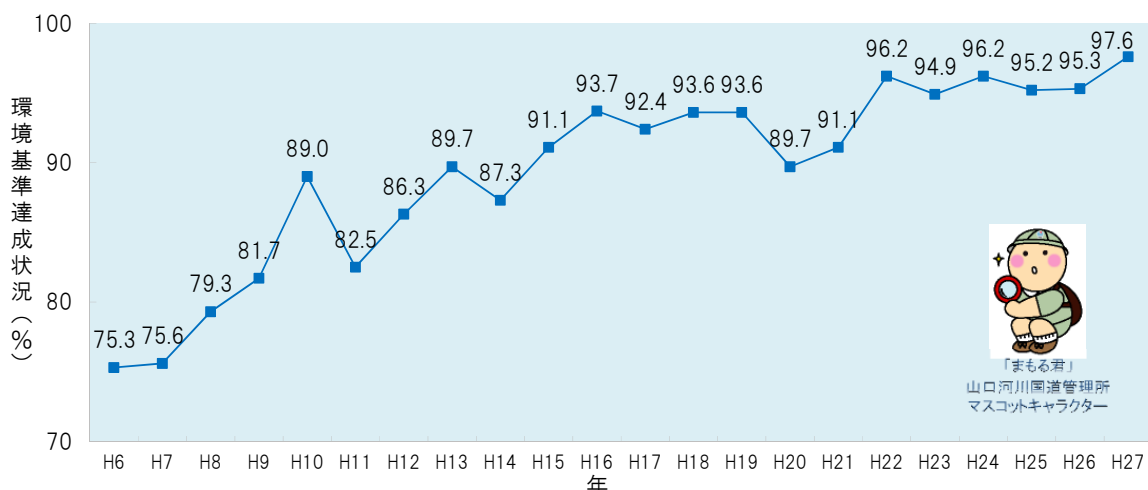
平成27年 水質調査結果

生活環境の保全に関する環境基準の満足状況

平成 27 年は、中国地方一級河川で環境基準のうち主要な指標である BOD の基準をしている地点の割合は、平成 26 年と比べて 95.3%から 97.6%と 2.3 ポイント上昇しました。

一級河川において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD の環境基準を満足している地点の割合の経年変化をみると、平成 27 年は 97.6%の 83 地点において環境基準を満足しています。

- 河川類型指定地点のうち、平成 27 年に BOD の環境基準を満足していなかった地点は、ダムサイト(灰塚ダム)地点(江の川水系上下川)2.7mg/l [基準値:A 類型 2mg/l以下]、川北地点(芦田川水系高屋川) 3.3 mg/l [基準値:A 類型 2mg/l以下]の 2 地点でした。
- 河川類型指定地点のうち、平成 26 年に BOD の環境基準を満足した地点で、平成 27 年に満足しなかった地点は、ダムサイト(灰塚ダム)地点(江の川水系上下川)0.9→2.7mg/l [基準値:A 類型 2mg/l以下]の 1 地点でした。
- 河川類型指定地点のうち、平成 26 年に BOD の環境基準を満足しなかった地点で、平成 27 年に満足した地点は、永安橋地点(吉井川水系吉井川)3.3→2.4mg/l [基準値:B 類型 3mg/l以下]、山手橋地点(芦田川水系芦田川)2.6→1.9mg/l [基準値:A 類型 2mg/l以下]、小水呑橋地点(芦田川水系芦田川)3.9→2.3mg/l [基準値:B 類型 3mg/l以下]の 3 地点でした。
- 湖沼類型指定地点のうち、平成 27 年に COD の環境基準を満足したのは、八田原ダム(芦田川水系芦田川)2.8mg/l [基準値:湖沼 A 類型 3mg/l以下]、温井ダム(太田川水系滝山川)2.1mg/l [基準値:湖沼 A 類型 3mg/l以下]の 2 地点でした。



一級河川における環境基準の満足状況の経年変化

※河川における調査地点の合計 101 地点のうち、河川の類型指定がなされている 85 地点での調査結果です。
※湖沼における調査地点の合計 22 地点のうち、湖沼の類型指定がなされている 22 地点での調査結果です。
※河川類型指定地点は BOD75%値、湖沼類型指定地点は COD75%で評価しています。

小鴨川 -再び「水質が最も良好な河川」に振り返りました-

小鴨川の概要

鳥取県を流れる小鴨川は、天神川水系で一番大きい支川(流域面積約 360km²)で、中国地方最高峰「大山」を源とする清流です。小鴨川の最下流、天神川との合流点付近には、鳥取県中部の中心都市である倉吉市があります。



日本一きれいな川を目指して

これまで小鴨川は、中国地方一級河川で水質が最も良好な河川でしたが、平成26年にその座を逃してしまいました。

このため、「守ろう水質日本一！」をスローガンに、天神川流域全体が一丸となって水質保全活動に取り組むこととし、平成11年以降毎年継続して取り組んでいる「天神川流域一斉清掃」にも、そのスローガンを掲げ、沿川住民の協力のもとで、「日本一きれいな川」を目指しました。

守ろう水質日本一!
小鴨川は平成25年水質日本一に輝きました。
第17回 天神川流域一斉清掃
平成27年4月19日(日)7:00~
(悪天候による中止の場合 平成27年5月10日(日)7:00~)

日本一きれいな川を目指して活動しましょう!
皆さんの参加が何より大切です。

天神川上流部から河口部までの天神川流域を住居の皆さんと、鳥取県、倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、雲南市を境にして県民が天神川を守っていかに大切に行うもので今年で17回目となります。

■清掃場所・集合場所
沿河川に天神川流域の河川整備推進委員会として、農家の皆さんと連携して活動してください。ゴミ袋及び作業服が貸出されるので集合場所に集まっていますので、清掃ができるよう服装で参加してください。作業終了後はゴミ袋の回収をお願いします。

■注意事項
●作業中は危険な箇所、歩道の歩道敷等には立ち入りしないでください。
●作業中は、作業中は必ずヘルメットや安全靴を履いてください。
●作業終了後は、作業終了後は必ず作業終了の挨拶をお願いします。
●作業終了後は、作業終了後は必ず作業終了の挨拶をお願いします。

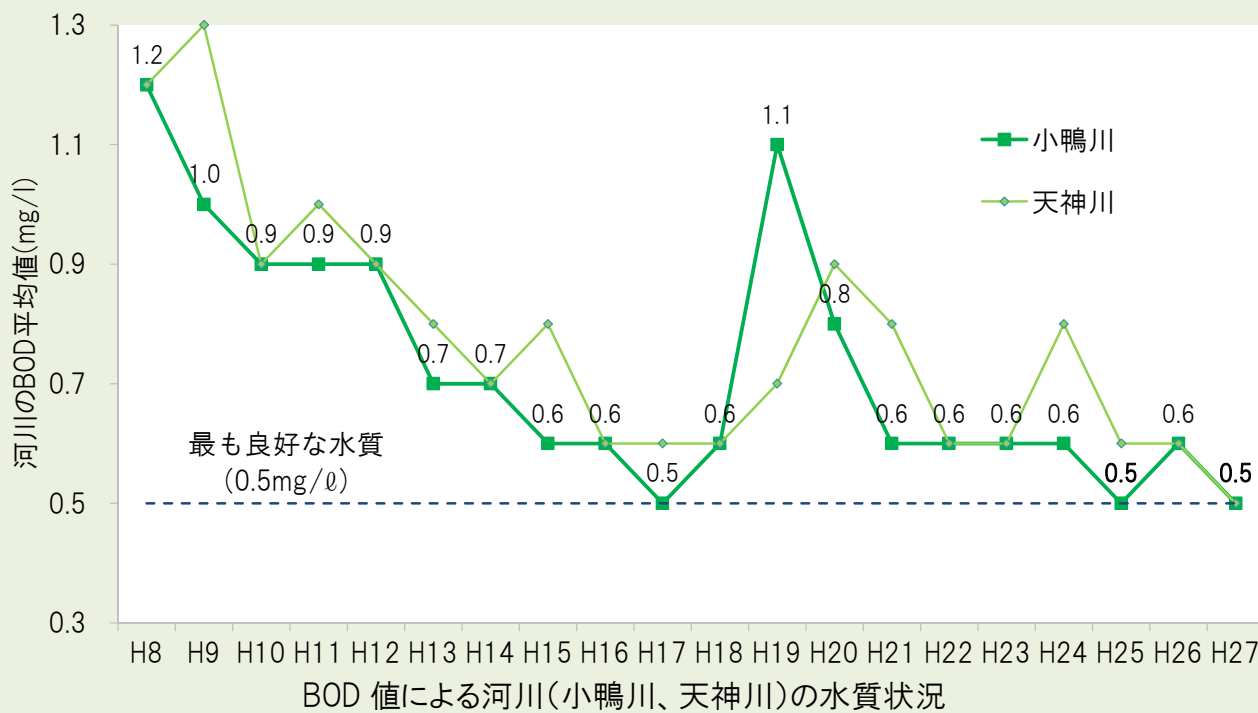
事務局: 天神川流域一斉清掃実行委員会事務局 0858-23-2014
電話: 0858-23-2014
FAX: 0858-23-2014
TEL: 0858-23-2014
0858-23-2014

国土交通省中国地方整備局倉吉河川国道事務所



また、小鴨川の「関金水辺の楽校(平成11年開校)」と「上小鴨水辺の楽校(平成13年開校)」では、水生生物調査や水質に関する環境学習などに、近隣の小学校が取り組んでいます。また、それらの活動がよりよく行えるよう、地域住民が楽校の除草清掃を毎年実施するなど、地域一体となった環境活動が展開されています。

このような流域住民の思いをはじめ、子ども達の環境学習など様々な取組みにより、小鴨川は平成27年に、再び水質が最も良好な河川に返り咲くことができました。



平成27年 新しい水質指標に基づく調査結果

新しい水質指標について

河川をBODだけでなく多様な視点で評価する新しい水質指標による調査を、平成 17 年から実施しています。このうち、住民による測定が可能な項目(水のおいや川底の感触、ゴミの量など)については住民との協働による調査も含め実施しました。

国土交通省では、河川水質管理において、住民や利水者の河川水質・河川環境に対して多様化するニーズに応えるため、『今後の河川水質管理の指標(新しい水質指標)について(案)』を平成 17 年 3 月に策定し、①人と河川の豊かなふれあいの確保、②豊かな生態系の確保、③利用しやすい水質の確保の 3 つの河川水質管理の視点別に指標のランクを設定しています。この指標は住民との協働による測定項目及び河川等管理者による測定項目からなり、河川を多様な視点で評価するよりわかりやすい調査手法です。

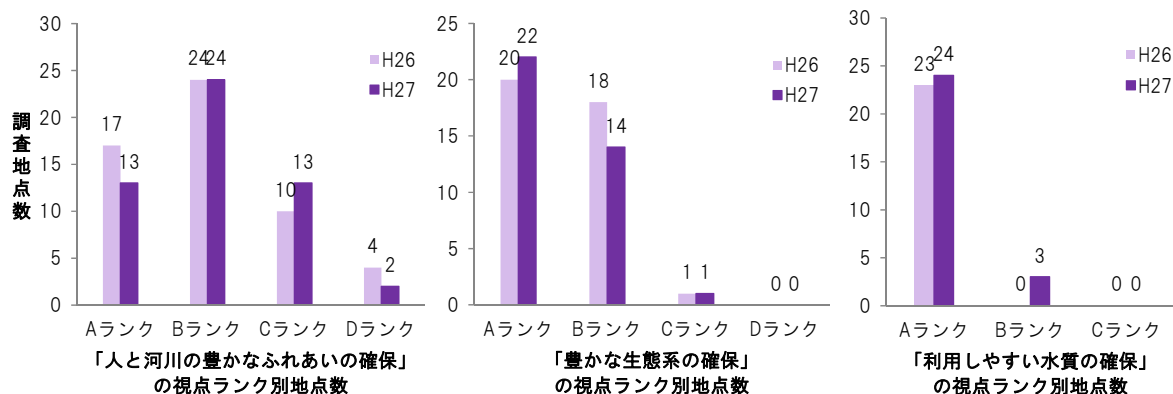
このなかで、水のおいや川底の感触、ゴミの量などについては、住民との協働による調査を実施しています。

新しい水質指標に基づく調査結果

①人と河川の豊かなふれあいの確保の視点では B ランク、②豊かな生態系の確保の視点では A ランク、③利用しやすい水質の確保の視点では A ランクの地点が多かった。

平成 27 年は、13 水系で調査を実施しました。

調査の結果、①人と河川の豊かなふれあいの確保の視点では、B ランク(川の中に入って遊びやすい)(24 地点/52 地点=46%)、②豊かな生態系の確保の視点では、A ランク(生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好)(22 地点/37 地点=59%)、③利用しやすい水質の確保の視点では、A ランク(より利用しやすい)(24 地点/27 地点=89%)と評価された地点が最も多かった。



①人と河川の豊かなふれあいの確保

住民との協働項目

ランク	説明	ランクのイメージ	評価項目と評価レベル ^(※1)				糞便性大腸菌群数 (個/100ml)
			ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触 ^(※3)	水のおい	
A	顔を川の水につけやすい		川の中や水際にゴミは見あたらないまたは、ゴミはあるが全く気にならない	100以上 ^(※2)	不快感がない	不快でない	100以下
B	川の中に入って遊びやすい		川の中や水際にゴミは目につくが、我慢できる	70以上	ところどころヌルヌルしているが、不快でない		1000以下
C	川の中には入れないが、川に近づけることができる		川の中や水際にゴミがあって不快である	30以上	ヌルヌルしており不快である	水に鼻を近づけて不快な臭いを感じる 風下の水際に立つと不快な臭いを感じる	1000を超えるもの
D	川の水に魅力がなく、川に近づきにくい		川の中や水際にゴミがあっても不快である	30未満			

※1 評価レベルについては、河川の状況や住民の感じ方によって異なるため、住民による感覚調査等を実施し、設定することが望ましい。
 ※2 実際には100cmを超える水質レベルを設定すべきであり、今後の測定方法の開発が望まれる。
 ※3 川底の感触とは、河床の礫に付着した有機物や藻類によるヌルヌル感を対象とする。

調査結果と地点評価

水系名	河川名	調査地点名	ゴミの量	透視度	川底の感触	水のおい	糞便性大腸菌群数	地点評価	
天神川	天神川	竹田橋	A	A	A	A	—	A	
		小鴨川	上小鴨水辺の楽校	A	A	A	A	—	A
		国府川	高城水辺の楽校	A	A	A	A	—	A
	天神川	竹田橋	A	A	B	A	—	B	
		小田橋	B	A	A	A	A	B	
		小田橋	A	A	A	A	—	A	
小鴨川	小鴨橋	B	A	B	A	—	B		
日野川	日野川	車尾堰下流	A	A	B	A	A	B	
斐伊川	斐伊川	木次町水辺の楽校	A	A	A	A	—	A	
		三島	A	A	A	A	A	A	
江の川	江の川	都賀西	A	A	A	A	A	A	
		川戸	A	A	A	A	A	A	
高津川	高津川	神田	A	A	A	A	A	A	
		和気橋	A	—	C	A	A	C	
吉井川	吉井川	熊山橋	B	—	B	A	A	B	
		備前大橋	A	—	B	A	A	B	
金剛川	宮橋	C	—	B	A	B	C		
旭川	旭川	新大原橋	B	—	B	A	A	B	
高粱川	高粱川	湛井堰	B	—	C	A	A	C	
		川辺橋	B	—	C	A	A	C	
小田川	福松橋	C	—	B	A	B	C		

水系名	河川名	調査地点名	ゴミの量	透視度	川底の感触	水のおい	糞便性大腸菌群数	地点評価
芦田川	芦田川	府中大渡橋	A	A	A	A	B	B
		府中大渡橋	A	A	A	A	—	A
		府中新橋	A	A	A	A	B	B
		府中新橋	A	A	A	A	B	B
		中須大橋	A	B	A	A	C	C
	砂川	中須大橋	B	A	A	A	—	B
		福戸橋	A	A	A	A	B	B
		福戸橋	A	A	A	A	C	C
		掛の橋	A	D	A	A	B	D
		掛の橋	B	A	B	A	—	B
高屋川	鶴ヶ橋	B	D	A	A	C	D	
	鶴ヶ橋	B	B	B	A	—	B	
	鶴ヶ橋	A	C	A	A	B	C	
	出原橋	A	A	B	A	—	B	
	中津原取水堰	A	A	A	A	B	B	
	中津原取水堰	A	A	B	A	B	B	
芦田川	山手橋	A	B	A	A	B	B	
	山手橋	A	A	A	A	—	A	
	小水呑橋	B	C	B	A	B	C	
	小水呑橋	A	C	B	A	—	C	
瀬戸川	観音橋	C	B	B	C	C	C	
	観音橋	A	A	B	A	—	B	
江の川	江の川	祝橋下流	B	A	B	A	C	C
		馬洗川	八次水辺の楽校	B	C	B	A	C
太田川	太田川	壬辰橋	A	A	B	A	A	B
小瀬川	小瀬川	矢口川上流	A	A	A	A	A	A
		両国橋	A	A	A	A	A	A
佐波川	佐波川	堀	A	A	A	A	B	B
		漆尾	A	A	A	A	B	B
		小野水辺の楽校	A	A	A	A	B	B
		新橋	A	A	A	A	B	B

※地点の評価は、評価項目の最低ランクで決めています。



②豊かな生態系の確保

住民との協働項目

ランク	説明	評価項目と評価レベル		
		DO (mg/ℓ)	NH4-N (mg/ℓ)	水生生物の生息
A	生物の生息・生育・繁殖環境として非常に良好	7 以上	0.2 以下	I. きれいな水 ・カワゲラ ・ナガレトビケラ等
B	生物の生息・生育・繁殖環境として良好	5 以上	0.5 以下	II. 少しきたない水 ・コガタシマトビケラ ・オオシマトビケラ等
C	生物の生息・生育・繁殖環境として良好とは言えない	3 以上	2.0 以下	III. きたない水 ・ミズムシ ・ミズカマキリ等
D	生物が生息・生育・繁殖しにくい	3 未満	2.0 を超えるもの	IV. 大変きたない水 ・セスジユスリカ ・チョウバエ等

調査結果と地点評価

水系名	河川名	調査地点名	水生生物の生息	DO	NH4-N	地点評価	
天神川	天神川	竹田橋	A	—	—	A	
	小鴨川	上小鴨水辺の楽校	A	—	—	A	
	国府川	高城水辺の楽校	A	—	—	A	
	天神川	竹田橋	A	—	—	A	
	天神川	小田橋	A	A	—	A	
	天神川	小田橋	A	A	—	A	
日野川	日野川	車尾堰下流	A	A	A	A	
	日野川	伯耆橋	A	—	A	A	
斐伊川	斐伊川	木次町水辺の楽校	B	—	—	B	
江の川	江の川	三島	B	A	—	B	
	江の川	都賀西	B	A	A	B	
高津川	高津川	川戸	A	A	A	A	
	高津川	神田	A	A	A	A	
吉井川	吉井川	和気橋	A	A	A	A	
	吉井川	熊山橋	B	B	A	B	
	吉井川	備前大橋	B	A	A	B	
	金剛川	宮橋	B	A	A	B	
旭川	旭川	新大原橋	B	B	A	B	
	高梁川	高梁川	湛井堰	B	A	A	B
		高梁川	川辺橋	B	A	A	B
	芦田川	小田川	福松橋	B	A	A	B
		芦田川	小水呑橋	—	A	A	A
		芦田川	小水呑橋	—	A	A	A
		芦田川	大井手頭首工	B	A	—	B
	江の川	高屋川	府中新橋	B	A	A	B
		高屋川	山手橋	B	A	A	B
		高屋川	白鷺橋	C	B	A	C
江の川	江の川	祝橋下流	A	A	—	A	
	馬洗川	八次水辺の楽校	A	A	—	A	
太田川	太田川	壬辰橋	A	A	—	A	
小瀬川	太田川	矢口川上流	B	A	A	B	
	小瀬川	両国橋	A	A	A	A	
佐波川	小瀬川	堀	A	A	A	A	
	佐波川	漆尾	A	A	A	A	
	佐波川	小野水辺の楽校	A	A	A	A	
	佐波川	新橋	A	A	A	A	

③利用しやすい水質の確保

調査結果と地点評価

ランク	説明	評価項目と評価レベル			
		安全性	快適性	維持管理性	維持管理性
		トリハロメタン生成能 (μg/ℓ)	2-MIB (ng/ℓ)	ジオスミン (ng/ℓ)	NH4-N (mg/ℓ)
A	より利用しやすい	100 以下	5 以下	10 以下	0.1 以下
B	利用しやすい	100 以下	20 以下	20 以下	0.3 以下
C	利用するためには高度な処理が必要	100 を超えるもの	20 を超えるもの	20 を超えるもの	0.3 を超えるもの

※『2-MIB』、『ジオスミン』は、かび臭の原因物質です。



水系名	河川名	調査地点名	トリハロメタン生成能	2-MIB	ジオスミン	NH4-N	地点評価	
日野川	日野川	八幡	A	A	A	A	A	
		車尾	A	A	A	A	A	
江の川	江の川	桜江大橋	A	A	A	A	A	
		和気橋	A	A	A	A	A	
吉井川	吉井川	熊山橋	A	A	A	A	A	
		弓削橋	A	A	A	A	A	
		坂根堰	A	A	A	A	A	
		備前大橋	A	A	A	A	A	
		鴨越堰	A	A	A	A	A	
		金剛川	宮橋	A	A	A	A	A
		旭川	旭川	合同堰	A	A	A	A
高梁川	高梁川	乙井手堰	A	A	A	A	A	
		相生橋	A	A	A	A	A	
		湛井堰	A	B	A	A	B	
		川辺橋	A	B	A	A	B	
		笠井堰	A	B	A	A	B	
		霧橋	A	A	A	A	A	
芦田川	芦田川	小田川	A	A	A	A	A	
		福松橋	A	A	A	A	A	
太田川	太田川	府中大橋	A	A	A	A	A	
		上戸手	A	A	A	A	A	
小瀬川	小瀬川	中津原	A	A	A	A	A	
		矢口川上流	A	A	A	A	A	
佐波川	佐波川	両国橋	A	A	A	A	A	
		堀	A	A	A	A	A	
		漆尾	A	A	A	A	A	
		小野水辺の楽校	A	A	A	A	A	
		新橋	A	A	A	A	A	

平成27年 ダイオキシン類の実態調査結果

ダイオキシン類実態調査結果

平成 27 年度に実施したダイオキシン類の実態調査では、いずれの地点においても水質・底質の環境基準(水質:1pg-TEQ/l 底質:150pg-TEQ/g)を満足していました。

ダイオキシン類^(※1)について、平成 11 年度から 13 水系 49 地点で継続的に水質と底質の調査を実施しており、平成 27 年度は 13 水系 30 地点で調査を実施しました。

水質・底質ともに、年間の評価値では全地点で環境基準を満足しました。

検体ごとの調査結果では、要監視濃度^(※2)を超過する値は検出されませんでした。

過去の調査において要監視濃度を超過する値が検出された地点は、重点監視地点として年4回の調査を実施しています。

※1 ダイオキシン類対策特別措置法に定義される『ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン(PCDD)』、『ポリ塩化ジベンゾフラン(PCDF)』、『ダイオキシン様塩化ビフェニル(DL-PCB)』の 3 種の化合物群。非意図的に生成され、毒性が非常に強く、残留性が高い物質。

※2 国土交通省が重点的に監視する際の目安として定めている濃度で、環境基準値の 1/2。要監視濃度を超えた地点は、その後の調査で 8 回連続して要監視濃度を下回るまで、重点監視地点として年 4 回の調査(通常の調査地点は年 1 回)を実施します。

ダイオキシン類の調査結果

水系名	河川名	調査地点名	地点		調査時期	ダイオキシン類(水質)	ダイオキシン類(底質)
			基準 or 補助	重点監視地点		PCDD+PCDF +DL-PCB	PCDD+PCDF +DL-PCB
						pg-TEQ/L	pg-TEQ/g
千代川	千代川	行徳	基準		秋期	0.069	0.24
天神川	天神川	小田	基準		秋期	0.073	0.22
日野川	日野川	車尾	基準		秋期	0.074	0.27
斐伊川	斐伊川	大津	基準		秋期	0.074	0.21
		尾原ダム	補助		秋期	0.07	3
	宍道湖	NO.3	基準		秋期	0.074	25
		斐伊川河口	基準		秋期	0.089	2.5
		松江温泉沖	基準		秋期	0.076	0.28
		秋鹿沖	基準		秋期	0.078	0.72
		玉湯町泉源沖	基準		秋期	0.086	1.6
	中海	中海湖心	基準		秋期	0.071	27
	神戸川	馬木	補助		秋期	0.068	0.26
志津見ダム		補助		秋期	0.068	4.8	
江の川	江の川	桜江大橋	基準		秋期	0.075	0.22
		土師ダム	補助		秋期	0.074	15
	上下川	灰塚ダム	補助		秋期	0.076	13
高津川	高津川	金地橋	基準		秋期	0.067	0.27
吉井川	吉井川	熊山橋	基準		秋期	0.075	0.43
旭川	旭川	乙井手堰	基準		秋期	0.076	1.9
高梁川	高梁川	霞橋	基準		秋期	0.088	1.8
芦田川	芦田川	小水呑橋	基準	○	春期	0.35	0.67
					夏期	0.093	1.3
					秋期	0.1	3.3
					冬期	0.19	0.36
太田川	太田川	八田原ダム	補助		秋期	0.075	15
		壬辰橋	基準		秋期	0.07	0.22
	滝山川	矢口川上流	補助		秋期	0.07	0.23
小瀬川	小瀬川	温井ダム	補助		秋期	0.067	4.8
		両国橋	基準		秋期	0.076	0.23
		中市堰	補助		秋期	0.077	0.55
佐波川	佐波川	弥栄ダム	補助		秋期	0.067	6.9
		島地川	新橋	基準		秋期	0.072
		島地川ダム	補助		秋期	0.067	2.2

※環境基準値は、水質:1pg-TEQ/l 以下、底質:150pg-TEQ/g 以下

※調査の代表地点を「基準監視地点」、その補完地点を「補助監視地点」としています。

※芦田川の小水呑橋地点は、平成 26 年度の測定値(水質)が 0.74pg-TEQ/l であったため、平成 27 年度に「重点監視地点」として調査を実施しています。

平成27年 水質事故等の発生状況

水質事故等の発生状況



平成 27 年に中国地方整備局管内で確認された水質事故等は 106 件でした。

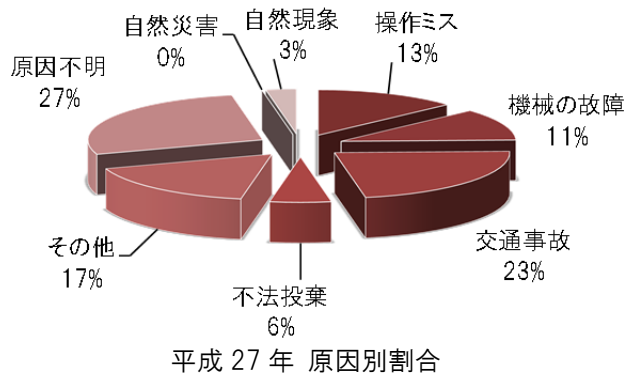
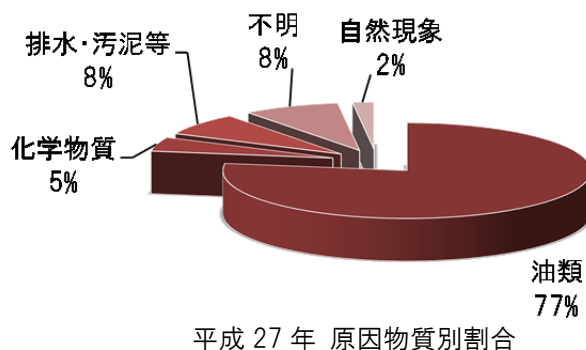
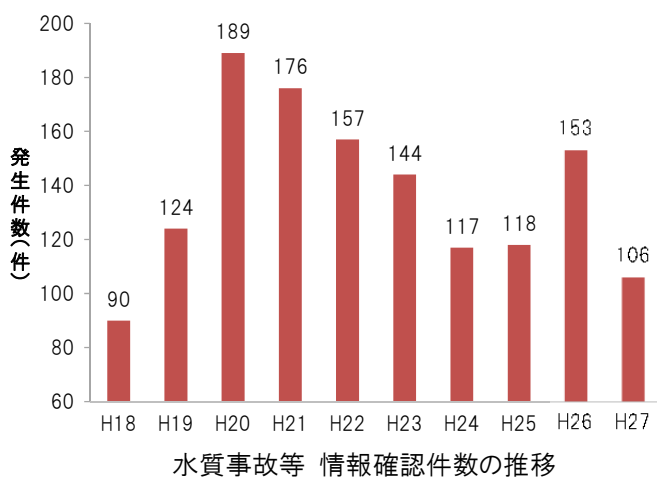
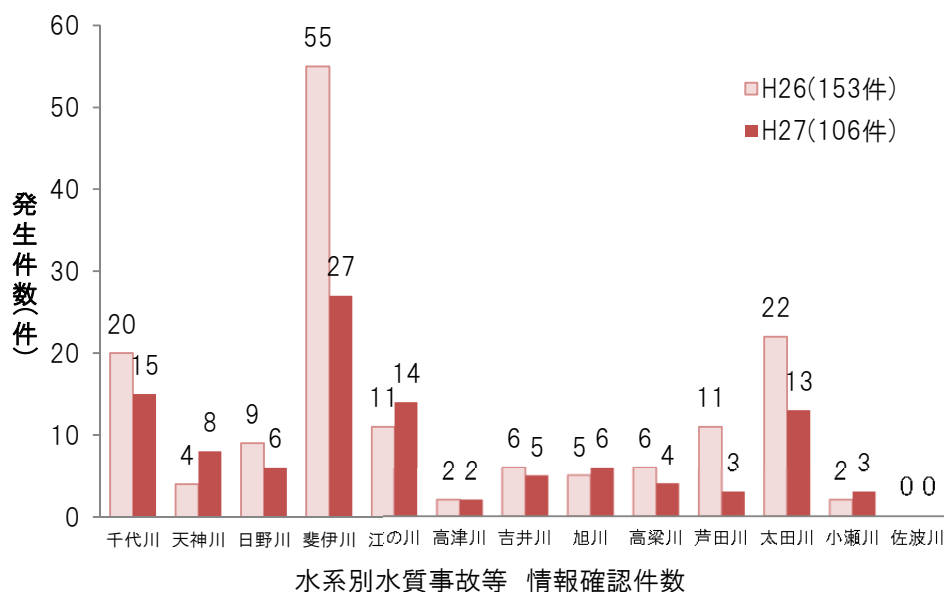
平成 27 年の確認件数は 106 件でした。

水系別では斐伊川水系の事故確認件数が 27 件と多いものの、昨年に比べ大幅に減少しました。原因物質別では、油類によるものが約 8 割を占めています。

なお、平成 20 年をピークに中国地方全体の事故確認件数は減少傾向にあります。



「ゴキちゃん」
太田川(河川)管理所
マスコットキャラクター



用語の解説

参考資料

BOD(生物化学的酸素要求量)

川の汚れの程度を測る代表的な尺度です。水中の汚れ(有機物)は、微生物により分解されますが、その時に消費する酸素の量をBODと言い、BODの値が大きければ水が汚れていることを表します。

COD(化学的酸素要求量)

水中の有機物質などが過マンガン酸カリウムによって化学的に酸化・分解される際に消費される酸素量のこと、数値が大きくなるほど汚濁していることを示します。湖沼や海域の水質汚濁の一般指標として用いられます。

75%値

年間の日間平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ $0.75 \times n$ 番目 (n は日間平均値のデータ数)のデータ値をもって75%値とします。($0.75 \times n$ が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる。)

例えば、BODを毎月1回測定していた場合、水質の良い方(値の小さい方)から数えて $0.75 \times 12 = 9$ 番目の値が75%値となります。

環境基準

人の健康の保護及び生活環境の保全のために維持されることが望ましい基準(水質環境基準)として定められたものです。人の健康の保護に関しては全国共通の基準値ですが、生活環境の保全に関しては地域ごとに基準値が定められています。

類型

環境基本法に基づく水質環境基準には、河川水の利用目的に応じて、達成すべき値や維持していくための目標値があります。生活環境項目の環境基準は、全国一律の値ではなく、類型別に基準値が定められています。河川等の状況や利用状況を考慮して、地域ごとに類型が指定されています。

河川の類型毎の環境基準値 (BOD 75%値)		湖沼の類型毎の環境基準値 (COD 75%値)	
類型	基準値	類型	基準値
AA類型	1 mg/ℓ	AA類型	1 mg/ℓ
A類型	2 mg/ℓ	A類型	3 mg/ℓ
B類型	3 mg/ℓ	B類型	5 mg/ℓ
C類型	5 mg/ℓ	C類型	8 mg/ℓ
D類型	8 mg/ℓ		
E類型	10 mg/ℓ		



糞便性大腸菌群数

大腸菌群のうち 44.5℃という高温でも生育する細菌群であり、大腸菌以外の細菌も含まれる。糞便性大腸菌群が多く検出されるということは、糞便汚染を受けた可能性が高く、赤痢菌、サルモネラ菌などの病原菌に感染しているリスクが高いことを示す。

このため、環境省では水浴場水質の判定基準に用いている。

平成 27 年中国地方一級河川の水質現況 概要パンフレット
Recent condition of water quality of class A river in Chugoku

<http://www.cgr.mlit.go.jp/>



国土交通省 中国地方整備局

〒730-8530

広島市中区上八丁堀 6-30 広島合同庁舎 2 号館

Tel. 082-221-9231(代表)

平成 27 年

中国地方一級河川の水質現況
(詳細資料)

平成 28 年 7 月

中国地方整備局

◆水質調査地点一覧表(河川)

水系名	河川名	水域類型指定				No.	水質調査地点名	地点感潮		調査地点地先名	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)	
		指定年月日	機関	指定区間	類型			区分	区間		平成27年	平成26年	平成27年	平成26年
千代川	千代川	46. 9.14	県	有富川との合流点より上流	AA	1	用瀬			鳥取県鳥取市用瀬町用瀬	0.8	0.5	0.9	0.5
					AA	2	佐貫			鳥取県鳥取市河原町佐貫	0.9	0.6	0.8	0.5
					AA	3	稲常	◎		鳥取県鳥取市河原町稲常	0.8	0.6	0.8	0.6
					AA	4	源太橋	◎		鳥取県鳥取市源太	0.8	0.5	0.9	0.5
				有富川との合流点より下流	A	5	行徳	◎		鳥取県鳥取市行徳	0.9	0.6	1.0	0.6
					A	6	賀露	◎	○	鳥取県鳥取市賀露	1.0	0.6	1.1	0.5
	袋川			未指定	-	7	中郷橋			鳥取県鳥取市浜坂	1.2	1.7	1.4	2.1
	旧袋川			未指定	-	8	秋里			鳥取県鳥取市秋里	1.6	1.8	1.8	2.0
	袋川			未指定	-	9	谷			鳥取県鳥取市国府町谷	0.7	0.6	0.7	0.5
					-	10	宮ノ下			鳥取県鳥取市国府町宮ノ下	0.9	0.6	1.1	0.7
	新袋川			未指定	-	11	美保橋			鳥取県鳥取市美保	0.9	0.6	0.8	0.6
	袋川			未指定	-	12	浜坂		○	鳥取県鳥取市浜坂	1.5	2.1	2.0	3.5
天神川	天神川	46. 9.14	県	小鴨川との合流点より上流	AA	13	今泉			鳥取県東伯郡三朝町今泉	0.5	0.7	0.5	0.9
					AA	14	大原	◎		鳥取県倉吉市大原	0.5	0.6	0.5	0.5
				小鴨川との合流点より下流	A	15	小田	◎		鳥取県倉吉市小田	0.5	0.6	0.5	0.5
					A	16	田後	◎		鳥取県東伯郡湯梨浜町田後	0.5	0.5	0.5	0.5
	小鴨川			未指定	-	17	関金			鳥取県倉吉市鴨河内生竹	0.5	0.5	0.5	0.5
					-	18	河原町			鳥取県倉吉市河原町	0.5	0.5	0.5	0.5
					-	19	巖城			鳥取県倉吉市巖城	0.5	0.9	0.5	1.2
	国府川			未指定	-	20	福光			鳥取県倉吉市大福光	0.5	0.7	0.5	0.7
日野川	日野川	46. 9.14	県	旧日野橋より上流	AA	21	溝口	◎		鳥取県日野郡伯耆町溝口	0.6	0.6	0.6	0.7
					AA	22	八幡	◎		鳥取県米子市東八幡	0.6	0.6	0.5	0.6
				旧日野橋より下流	A	23	車尾	◎		鳥取県米子市車尾	0.6	0.6	0.6	0.7
					A	24	皆生	◎	○	鳥取県米子市皆生町新田	0.7	0.6	0.7	0.8
	法勝寺川			未指定	-	25	法勝寺			鳥取県西伯郡南部町法勝寺	0.7	0.8	0.8	0.9
	印賀川			未指定	-	26	福市			鳥取県米子市兼久	0.8	0.8	1.0	1.0
					-	27	菅沢ダム(表層)			鳥取県日野郡日南町菅沢	1.9	1.2	2.4	1.4
斐伊川	斐伊川	48. 6.29	県	斐伊川本川	AA	28	里熊(里熊大橋)	◎		島根県雲南市水次町八木杉	0.6	0.6	0.5	0.7
					AA	29	大津(神立橋)	◎		島根県出雲市大津町	0.5	0.6	0.5	0.6
					-	30	尾原ダムダムサイト			島根県出雲市治有原町	0.8	1.0	1.0	1.0
	神戸川	50.4.11	県	稗原川合流点より下流	A	31	馬木	◎		鳥取県出雲市馬木町	0.6	0.6	0.7	0.7
					A	32	神戸川河口	◎	○	鳥取県出雲市西園町	0.7	0.7	0.8	0.7
					-	33	志津見ダムダムサイト			島根県出雲市治有原町	1.1	1.3	1.8	1.2

◆水質調査地点一覧表(河川)

水系名	河川名	水域類型指定				No.	水質調査地点名	地点感潮		調査地点地名	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)		
		指定年月日	機関	指定区間	類型			区分	区間		平成27年	平成26年	平成27年	平成26年	
江の川	江の川 上流	48. 3.31	国	全 域	A	34	吉 田			広島県安芸高田市吉田町内堀	0.9	0.8	1.0	0.7	
					A	35	粟 屋			広島県三次市粟屋町	1.0	0.8	1.2	0.7	
					A	36	尾関山			広島県三次市三次町五日市	0.8	0.7	1.0	0.7	
		馬洗川	48. 3.31	国	全 域	A	37	三国橋	◎		島根県邑智郡邑南町下口羽	0.8	0.7	0.9	0.7
		上下川	51. 4.13	県	全 域	A	38	南畑敷	◎		広島県三次市南畑敷町	1.0	0.8	1.2	0.8
		西城川	51. 4.13	県	全 域	A	39	ダムサイト(灰塚ダム)	◎		広島県三次市三良坂町	2.0	1.0	2.7	0.9
		神野瀬川	51. 4.13	県	全 域	A	40	三 次	◎		広島県三次市三次町太才	0.7	0.6	0.9	0.7
		江の川 下流	48. 3.31	国	全 域	A	41	神野瀬川	◎		広島県三次市日下町	0.6	0.6	0.7	0.7
		A				42	都賀大橋			島根県邑智郡美郷町都賀	0.7	0.7	0.7	0.7	
		A				43	川本大橋	◎		島根県邑智郡川本町川本	0.7	0.6	0.7	0.7	
	A	44				桜江大橋	◎		島根県江津市桜江町	0.7	0.6	0.8	0.6		
					A	45	川 平	◎		島根県江津市川平町	0.7	0.6	0.8	0.7	
					A	46	江川橋	◎	○	島根県江津市本町	0.6	0.6	0.7	0.6	
高津川	高津川	49. 4.12	県	飯田吊橋より上流	AA	47	神田橋			島根県益田市神田	0.6	0.6	0.6	0.6	
					AA	48	金地橋	◎		島根県益田市虫追	0.5	0.5	0.5	0.5	
				飯田吊橋より下流	A	49	高 角			島根県益田市高津町	0.6	0.5	0.6	0.5	
					A	50	高津大橋	◎	○	島根県益田市高津町	0.6	0.6	0.6	0.6	
吉井川	吉井川	46. 5.25	国	嵯峨堰より下流	B	51	和気橋			岡山県和気郡和気町和気	0.7	1.1	0.8	1.3	
					B	52	熊山橋	◎		岡山県赤磐市河原田	0.8	0.9	0.9	1.0	
					B	53	弓削橋			岡山県赤磐郡瀬戸町二日市	0.9	0.9	1.1	1.0	
					B	54	備前大橋			岡山県岡山市吉井	0.9	1.1	1.2	1.0	
					B	55	鴨越堰			岡山県岡山市久保	1.0	1.0	0.9	1.0	
					B	56	永安橋		○	岡山県岡山市西大寺南2丁目	2.5	2.7	2.4	3.3	
	金剛川	48. 4.17	県	全 域	A	57	宮 橋	◎		岡山県和気郡和気町尺所	0.7	0.8	0.8	0.8	
旭 川	旭 川	46. 5.25	国	湯原ダムから乙井手堰まで	A	58	合同堰			岡山県岡山市玉柏	0.7	0.7	0.8	0.8	
					A	59	乙井手堰	◎		岡山県岡山市三野2丁目	0.8	0.8	0.9	0.8	
				乙井手堰より下流	B	60	相生橋		○	岡山県岡山市内山下2丁目	0.9	0.7	0.9	0.7	
					B	61	桜 橋	◎	○	岡山県岡山市船頭町	1.4	1.1	1.7	1.0	
	B	62	旭川大橋		○	岡山県岡山市平井	1.9	2.4	2.6	2.5					
百間川	46. 5.25	国	全 域	C	63	清内橋	◎		岡山県岡山市沖元	2.6	2.0	3.3	2.2		
高梁川	高梁川	45. 9. 1	国	成羽川合流点から湛井堰まで	A	64	湛井堰	◎		岡山県総社市井尻野	0.8	0.8	0.8	0.8	
					B	65	川辺橋			岡山県倉敷市真備町川辺	0.9	0.8	1.0	0.8	
				湛井堰より下流	B	66	笠井堰			岡山県倉敷市津津	0.8	0.9	0.8	1.0	
					B	67	霞 橋	◎		岡山県倉敷市玉島上成	1.1	1.1	1.1	1.2	
	小田川	49. 5.10	県	淀平堰より下流	B	68	福松橋	◎		岡山県倉敷市真備町箭田	1.0	1.0	1.2	1.2	

◆水質調査地点一覧表(河川)

水系名	河川名	水域類型指定				No.	水質調査地点名	地点感潮		調査地点地名	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)			
		指定年月日	機関	指定区間	類型			区分	区間		平成27年	平成26年	平成27年	平成26年		
芦田川	芦田川	48. 2.27	県	府中大橋より上流	A	69	久佐			広島県府中市久佐町	0.9	0.9	1.1	1.1		
					A	70	大渡橋			広島県府中市篠根町定国	0.9	1.0	1.1	1.1		
					A	71	府中大橋	◎		広島県府中市土生町	1.1	1.0	1.2	1.2		
				府中大橋から高屋川合流点まで	A	72	上戸手	◎		広島県福山市新市町戸手	1.1	1.1	1.4	1.4		
					A	73	中津原	◎		広島県福山市御幸町中津原	1.1	1.0	1.1	1.2		
					A	74	山手橋	◎		広島県福山市南本庄町	1.7	2.2	1.9	2.6		
	砂川			未指定	-	76	中須			広島県府中市中須町	2.7	1.7	2.6	2.0		
					B	75	小水呑橋	◎		広島県福山市千代田町	2.4	2.8	2.3	3.9		
高屋川	48. 2.27	県	岡山県境からJR福塩線橋梁まで	A	77	川北	◎		広島県深安郡神辺町川北	2.6	2.2	3.3	2.2			
				B	78	横尾	◎		広島県福山市横尾町	2.3	2.2	2.5	2.7			
太田川	太田川	50. 6.13	県	明神橋から行森川合流点まで	A	79	柴木川下流	◎		広島県山県郡安芸太田町小原	0.6	0.6	0.6	0.5		
					A	80	加計	◎		広島県山県郡安芸太田町加計	0.8	0.7	0.9	0.8		
					A	81	高山川下流	◎		広島県広島市安佐北区安佐町久地	0.7	0.6	0.8	0.6		
					A	82	壬辰橋	◎		広島県広島市安佐北区安佐町飯室	0.9	0.7	1.1	0.8		
				45. 9. 1	国	行森川合流点から祇園水門まで	A	83	太田川橋			広島県広島市安佐南区八木8丁目	0.7	0.6	0.8	0.6
							A	84	玖村			広島県広島市安佐北区落合2丁目	0.8	0.7	1.1	0.8
							A	85	矢口川上流			広島県広島市安佐北区口田1丁目	0.9	0.8	1.0	0.9
							B	86	旭橋	◎	○	広島県広島市西区南観音町4丁目	1.3	1.6	1.6	2.0
	滝山川	50. 6.13	県	全 域	A	87	滝山川河口	◎		広島県山県郡安芸太田町加計	0.7	0.7	0.8	0.8		
	根谷川	50. 6.13	県	代田一合橋より下流	B	88	根の谷橋	◎		広島県広島市安佐北区深川2丁目	0.9	0.8	1.1	1.0		
	三篠川	50. 6.13	県	全 域	A	89	深川橋	◎		広島県広島市安佐北区深川1丁目	0.8	0.7	0.9	0.9		
	古川	50. 6.13	県	安川合流点より下流	B	90	東原	◎		広島県広島市安佐南区東原1丁目	1.2	1.2	1.3	1.1		
	天満川	45. 9. 1	国	全 域	A	91	昭和大橋	◎	○	広島県広島市中区舟入南2丁目	1.2	1.3	1.3	1.6		
	旧太田川	45. 9. 1	国	全 域	A	92	舟入橋	◎	○	広島県広島市中区吉島	1.1	1.0	1.1	1.2		
元安川	45. 9. 1	国	全 域	A	93	南大橋	◎	○	広島県広島市中区大手町5丁目	1.1	1.1	1.2	1.1			
小瀬川	小瀬川	48. 3.31	国	前淵橋より上流	AA	94	小川津	◎		山口県岩国市小瀬小川津	0.8	0.7	0.9	0.7		
					A	95	両国橋	◎		広島県大竹市木野町	0.8	0.7	0.9	0.8		
					B	96	大和橋	◎	○	広島県大竹市本町	1.0	0.8	1.0	1.0		

◆水質調査地点一覧表(河川)

水系名	河川名	水域類型指定			No.	水質調査地点名	地点感潮		調査地点地先名	BOD平均値(mg/l)		BOD75%値(mg/l)		
		指定年月日	機関	指定区間			類型	区分		区間	平成27年	平成26年	平成27年	平成26年
佐波川	佐波川	47.6.15	県	佐野堰より上流	A	97	堀			山口県山口市徳地大字堀字上清水	0.7	0.5	0.7	0.5
					A	98	漆尾	◎		山口県山口市徳地町伊賀地	0.9	0.6	1.0	0.7
					A	99	真尾			山口県防府市大字真尾字小池	0.6	0.7	0.6	0.7
					A	100	新橋	◎		山口県防府市新橋町新橋1010地先	0.9	0.6	0.9	0.6
				B	101	佐波川大橋	◎	○	山口県防府市植松	0.8	0.7	0.9	0.7	

凡例 水域類型指定・類型

河川AA BOD 1.0mg/ℓ以下

河川A BOD 2.0mg/ℓ以下

河川B BOD 3.0mg/ℓ以下

河川C BOD 5.0mg/ℓ以下

河川D BOD 8.0mg/ℓ以下

河川E BOD 10.0mg/ℓ以下

地点区分 ◎ .. 環境基準地点

 不満足地点

◆水質調査地点一覧表(湖沼)

水系名	河川名	水域類型指定			No.	水質調査地点名	地点区分	感潮区間	調査地点地先名	COD平均値(mg/l)		COD75%値(mg/l)		
		指定年月日	機関	指定区間						類型	平成27年	平成26年	平成27年	平成26年
斐伊川	宍道湖	48.6.29	県	宍道湖(大橋川含む)	湖沼A	102	宍道湖 No.1 (S-1)	◎	○	島根県松江市嫁島町	4.3	4.3	4.9	4.5
					湖沼A	103	宍道湖 No.3 (S-3)	◎	○	島根県松江市岡本町	4.3	4.1	4.9	4.1
					湖沼A	104	宍道湖 No.5 (S-6)		○	島根県出雲市	4.0	4.1	4.5	4.2
	大橋川	"	"	"	湖沼A	105	矢田 (S-5)	◎	○	島根県松江市矢田町	3.9	4.0	3.9	4.4
	中海	47.10.31	県	中海及び境水道	湖沼A	106	大橋川河口 (N-1)	◎	○	島根県松江市八幡町	3.7	3.9	4.1	4.5
					湖沼A	107	意東鼻沖 (N-2)	◎	○	島根県八束郡東出雲町	3.7	3.9	3.9	4.3
					湖沼A	108	羽入川河口 (N-5)	◎	○	島根県八束郡東出雲町羽入地先	3.7	4.0	4.2	4.6
					湖沼A	109	中海湖心 (N-6)	◎	○	島根県松江市八束町地先	3.8	3.5	4.3	3.6
					湖沼A	110	飯梨川河口 (N-3)	◎	○	島根県安来市東赤江町	3.7	3.6	4.2	3.8
					湖沼A	111	安来港 (N-4)	◎	○	島根県安来市安来町	4.1	4.2	4.6	4.4
					湖沼A	112	米子湾中央部	◎	○	鳥取県米子市灘町	4.4	5.2	5.1	5.8
					湖沼A	113	葭津	◎	○	鳥取県米子市葭津町	2.8	3.5	3.3	3.7
					湖沼A	114	渡町		○	鳥取県境港市渡町	3.9	2.6	4.4	2.7
					湖沼A	115	境水道中央部	◎	○	鳥取県境港市昭和町	3.4	2.3	3.5	2.6
					湖沼A	116	長海町 (NH-1)	◎	○	島根県松江市長海町	3.5	3.4	4.0	3.8
	湖沼A	117	本庄	◎	○	島根県松江市本庄町	3.6	3.6	4.0	3.8				
	湖沼A	118	上宇部尾町 (NH-2)		○	島根県松江市上宇部尾町	3.7	3.9	4.1	4.1				
	江の川	江の川	48.3.31	国	全域	湖沼A	119	土師ダム	◎		広島県安芸高田市八千代町	3.0	2.5	3.9
芦田川	芦田川	48.2.27	県	府中大橋より上流	湖沼A	120	八田原ダム	◎		広島県世羅郡世羅町大字小谷	2.8	2.5	2.8	2.7
太田川	滝山川	50.6.13	県	全域	湖沼A	121	温井ダム			広島県山県郡安芸太田町加計	1.8	1.5	2.1	1.6
小瀬川	小瀬川	48.3.31	国	前淵橋より上流	湖沼AA	122	弥栄ダム	◎		広島県大竹市小方町小方	1.8	1.3	2.1	1.4
佐波川	島地川	63.4.5	県	高瀬湖	湖沼A	123	島地川ダム	◎		山口県周南市大字高瀬字青ヶ平291-5	3.3	3.6	4.8	3.9

凡例 水域類型指定・類型
 湖沼AA COD 1.0mg/l 以下
 湖沼A COD 3.0mg/l 以下
 湖沼B COD 5.0mg/l 以下
 湖沼C COD 8.0mg/l 以下

地点区分 ◎ .. 環境基準地点

満足している地点

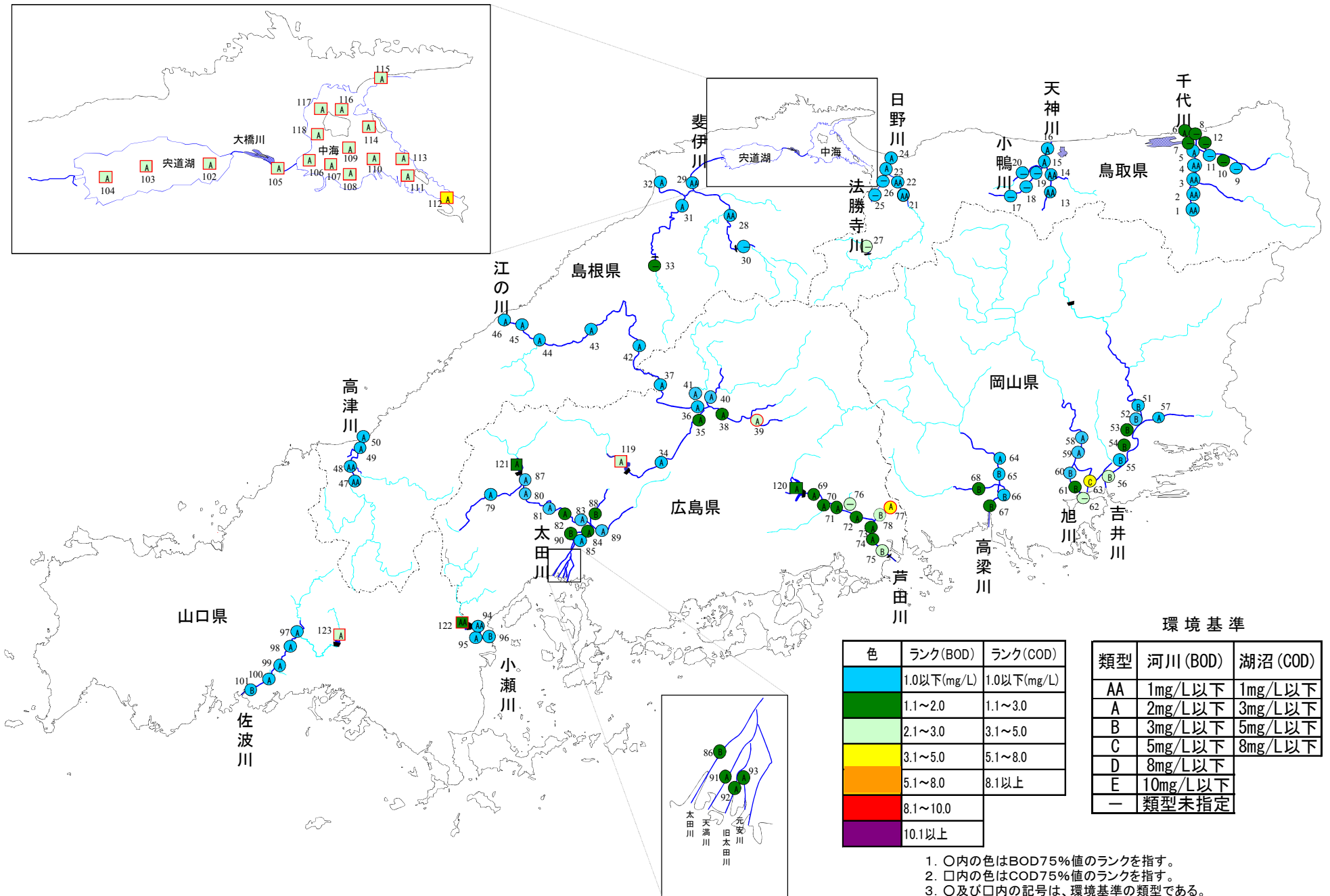


図1 中国地方管内の水質状況図

◆ダイオキシン類に関する実態調査

(1) 調査概要

国土交通省では、平成 11 年度から「ダイオキシン類対策特別措置法」で定義されているダイオキシン類について、全国一級水系で継続的に調査を実施しています。

ダイオキシン類については、平成 15 年度に、それまでの調査を基に、監視地点、監視頻度、精度管理等の考え方を取りまとめた「河川、湖沼等における底質ダイオキシン類対策マニュアル」(案) (平成 17 年 3 月改訂) を作成し、調査を実施していましたが、「底質のダイオキシン類対策技術資料集」(平成 19 年 3 月)、「底質ダイオキシン類対策の基本的考え方」(平成 19 年 3 月) がまとめられたこと等、新たな知見を踏まえ、平成 20 年 4 月に改訂されました。以降はこのマニュアル(平成 20 年 4 月改訂) に基づき調査を実施しています。

(2) 対象物質

マニュアルに基づき、ポリクロロジベンゾーパラージオキシン(PCDD_s)、ポリクロロジベンゾフラン(PCDF_s)及びダイオキシン様 PCB(DL-PCB)の3種類の化合物群(複数の同族体や異性体が存在)について調査を実施しました。これらの化合物群は、環境中の存在量は微量ですが、毒性が強く、焼却、農薬等の製造、パルプの塩素漂白などで非意図的に生成し、残留性が高い物質です。また、平成 20 年からは、ベンゾ(a)ピレンも調査対象物質として調査を実施します。

ダイオキシン類は、異性体ごとに毒性が異なるため、世界保健機関(WHO)によって提案されたTEF(毒性等価係数)を用い、各化合物の濃度をTEQ(毒性等量)で示したものを合計して、毒性を評価します。また、複数回測定した地点においては、各回のTEQ合計値を平均して、毒性を評価します。

(3) 調査地点及び調査頻度

基準監視地点については、一級水系における順流最下流の環境基準点(順流最下流に環境基準点がない場合は最下流の環境基準点)に加えて、国土交通省が直轄管理している湖沼の代表地点などを選定しています。補助監視地点については、基準監視地点を補完するため、ダイオキシン類濃度が比較的高濃度となる可能性がある地点を選定します。

また、基準監視地点又は補助監視地点において、要監視濃度(※)を上回った地点を重点監視地点とします。なお、重点監視地点において、8回連続して要監視濃度を下回る値を観測した場合は、一般の監視地点に戻します。

監視頻度については、基準監視地点は毎年1回、補助監視地点は3年毎に1回、重点監視地点は毎年4回の調査を実施します。ただし、ベンゾ(a)ピレンのみ6年に1回、基準監視地点の調査と合わせて実施します。

※ 要監視濃度：(水質 0.5pg-TEQ/L、底質 75pg-TEQ/g)

(環境基準値：(水質 1.0pg-TEQ/L、底質 150pg-TEQ/g)の1/2)

(4) 調査結果

調査の結果、水質調査、底質調査のいずれに関しても「環境基準値」を上回った地点はありませんでした。

なお、平成26年に「要監視濃度」を上回った1地点（広島県の芦田川水系芦田川の小水呑橋地点）については、重点監視地点として毎年4回の調査を実施し、監視を続けることとしています。（調査結果は、表-1参照）

表-1 ダイオキシン類測定結果

No.	都道府県名	水系名	河川名	調査地点名	地点 基準 or 補助	調査時期	ダイオキシン類（水質）				ダイオキシン類（底質）			
							PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値 （平均値）	PCDD+PCDF	DL-PCB	TOTAL	評価値 （最高値）
							pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/L	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g	pg-TEQ/g
701	鳥取県	千代川	千代川	行徳	基準		0.065	0.005	0.069	0.069	0.230	0.013	0.240	0.240
702	鳥取県	天神川	天神川	小田	基準	秋期	0.068	0.005	0.073	0.073	0.210	0.013	0.220	0.220
703	鳥取県	日野川	日野川	車尾	基準	秋期	0.069	0.005	0.074	0.074	0.260	0.013	0.270	0.270
704	鳥取県	斐伊川	斐伊川	大津	基準	秋期	0.069	0.005	0.074	0.074	0.200	0.013	0.210	0.210
705	鳥取県	斐伊川	斐伊川	尾原ダム	補助	秋期	0.065	0.005	0.070	0.070	2.800	0.150	3.000	3.000
706	鳥取県	斐伊川	宍道湖	NO.3	基準	秋期	0.070	0.005	0.074	0.074	24.000	0.990	25.000	25.000
707	鳥取県	斐伊川	宍道湖	斐伊川河口	基準	秋期	0.084	0.005	0.089	0.089	2.400	0.055	2.500	2.500
708	鳥取県	斐伊川	宍道湖	松江温泉沖	基準	秋期	0.072	0.005	0.076	0.076	0.260	0.013	0.280	0.280
709	鳥取県	斐伊川	宍道湖	秋鹿沖	基準	秋期	0.074	0.005	0.078	0.078	0.700	0.025	0.720	0.720
710	鳥取県	斐伊川	宍道湖	玉湯町泉源沖	基準	秋期	0.082	0.005	0.086	0.086	1.500	0.035	1.600	1.600
711	鳥取県	斐伊川	中海	中海湖心	基準	秋期	0.066	0.005	0.071	0.071	26.000	0.820	27.000	27.000
712	鳥取県	斐伊川	神戸川	馬木	補助	秋期	0.064	0.005	0.068	0.068	0.240	0.013	0.260	0.260
713	鳥取県	斐伊川	神戸川	志津見ダム	補助	秋期	0.064	0.005	0.068	0.068	4.600	0.200	4.800	4.800
714	鳥取県	江の川	江の川	桜江大橋	基準	秋期	0.070	0.005	0.075	0.075	0.210	0.013	0.220	0.220
715	鳥取県	高津川	高津川	金地橋	基準	秋期	0.063	0.005	0.067	0.067	0.260	0.014	0.270	0.270
716	岡山県	吉井川	吉井川	熊山橋	基準	秋期	0.071	0.005	0.075	0.075	0.420	0.013	0.430	0.430
717	岡山県	旭川	旭川	乙井手堰	基準	秋期	0.072	0.005	0.076	0.076	0.540	0.140	1.900	1.900
718	岡山県	高梁川	高梁川	霞橋	基準	秋期	0.083	0.005	0.088	0.088	1.700	0.086	1.800	1.800
719	広島県	江の川	江の川	土師ダム	補助	秋期	0.070	0.005	0.074	0.074	14.000	0.410	15.000	15.000
720	広島県	芦田川	芦田川	小水呑橋（※）	基準	春期	0.330	0.018	0.350	0.350	0.63	0.034	0.670	0.670
						夏期	0.089	0.005	0.093	0.093	1.300	0.056	1.300	1.300
						秋期	0.096	0.005	0.100	0.100	3.200	0.160	3.300	3.300
						冬期	0.180	0.010	0.190	0.190	0.340	0.014	0.360	0.360
721	広島県	芦田川	芦田川	八田原ダム	補助	秋期	0.070	0.005	0.075	0.075	15.000	0.310	15.000	15.000
722	広島県	江の川	上下川	伏塚ダム	補助	秋期	0.072	0.005	0.076	0.076	13.000	0.270	13.000	13.000
723	広島県	太田川	太田川	壬辰橋	基準	秋期	0.065	0.005	0.070	0.070	0.200	0.013	0.220	0.220
724	広島県	太田川	太田川	矢口川上流	補助	秋期	0.066	0.005	0.070	0.070	0.210	0.013	0.230	0.230
725	広島県・山口県	小瀬川	小瀬川	両区橋	基準	秋期	0.071	0.005	0.076	0.076	0.210	0.013	0.230	0.230
726	広島県・山口県	小瀬川	小瀬川	中市堰	補助	秋期	0.072	0.005	0.077	0.077	0.480	0.075	0.550	0.550
727	広島県	太田川	渡山川	温井ダム	補助	秋期	0.062	0.005	0.067	0.067	4.500	0.270	4.800	4.800
728	広島県	小瀬川	小瀬川	弥宗ダム	補助	秋期	0.063	0.005	0.067	0.067	6.300	0.590	6.900	6.900
729	山口県	佐波川	佐波川	新橋	基準	秋期	0.068	0.005	0.072	0.072	0.410	0.013	0.430	0.430
730	山口県	佐波川	島地川	島地川ダム	補助	秋期	0.062	0.005	0.067	0.067	2.000	0.140	2.200	2.200

注：四捨五入により、(PCDDs+PCDFs)とDL-PCBsの和が、Totalと一致しないことがある。

(※)：平成26年に要監視濃度を上回ったため、重点監視地点として年4回の調査を実施した地点。

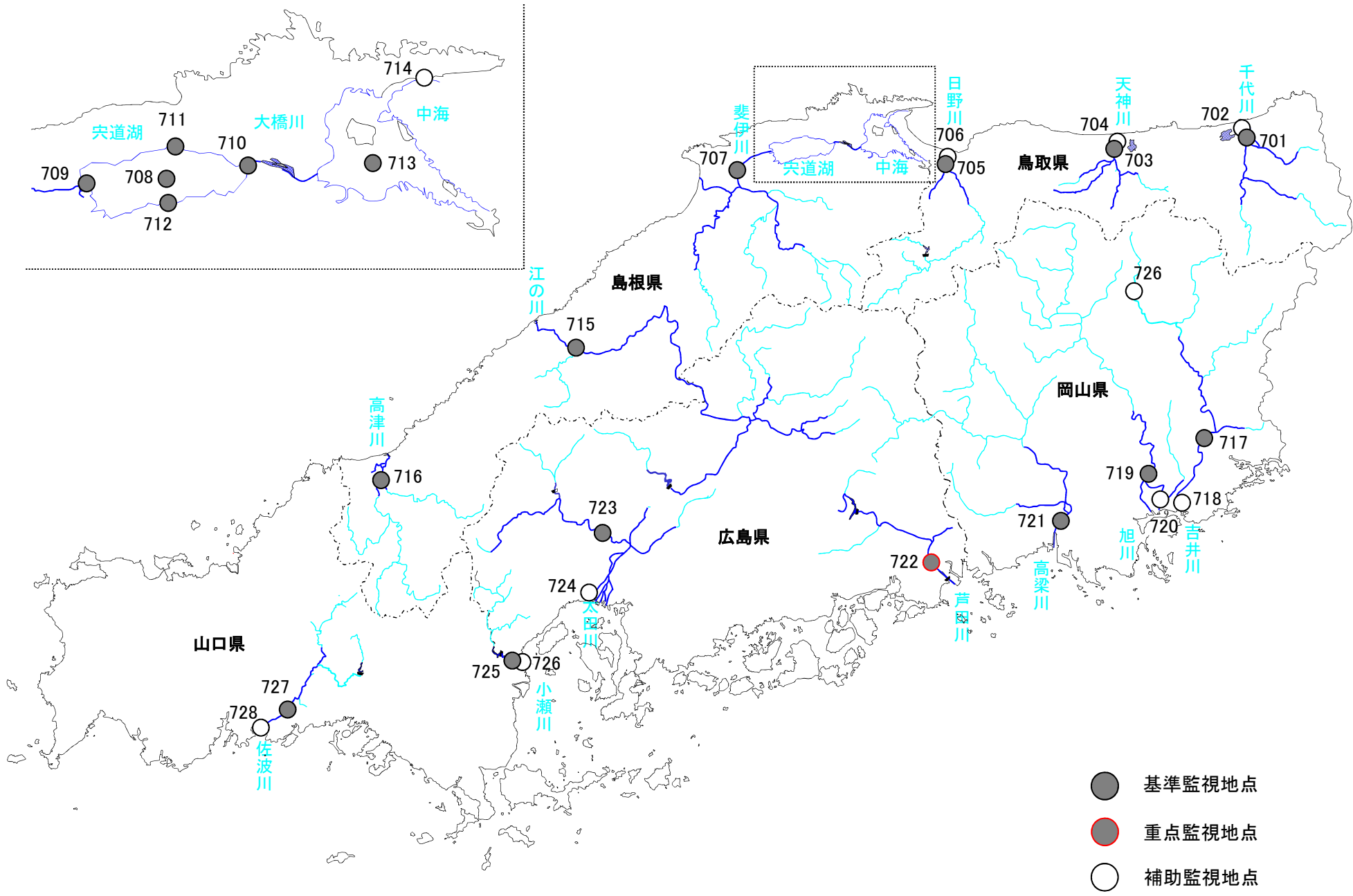


図2 ダイオキシン類実態調査地点位置図